



トーヨーカネツグループ

# 株主通信

第113期 中間事業のご報告  
(2020年4月1日～2020年9月30日)

**トーヨーカネツ**株式会社

証券コード:6369

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様によりお見舞い申し上げます。

当社の株主通信（第113期 中間事業のご報告）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期において、物流ソリューション事業は対前年同期比で減収となるも、プロジェクト管理の強化により採算性が改善し増益となりました。一方、機械・プラント事業は新設案件がコロナ禍の影響もあって減少していることから、国内メンテナンス案件が堅調に推移し増収となったものの、営業赤字が継続しております。この結果、連結業績につきましては減収・増益となりました。

引き続き、通期の業績見通しの達成に向けて事業の動向を注視してまいります。

また、本年度はグループ中期経営計画（2019～2021年度）の2年目ではございますが、今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中期経営計画の前提となる事業環境に大きな変化が生じていることから、中期経営計画最終年度（2022年3月期）の連結業績目標を修正させて頂くこととしました。

修正後の2022年3月期の連結業績目標は、売上高46,000百万円、営業利益2,100百万円、ROE5.0%と設定いたします。（詳細につきましては、2020年11月12日公表の「中期経営計画の修正に関するお知らせ」をご参照ください）新たに設定しました連結業績目標を達成するべく事業戦略を推進してまいります。

なお、中期経営計画期間中に設定した株主還元方針（連結配当性向50%以上（ただし、1株当たり年間100円配当を下限とする。））は維持しており、期末配当として100円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

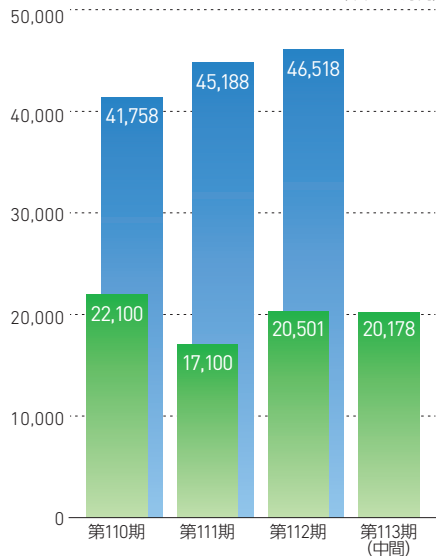


2020年12月  
代表取締役社長 柳川 徹

# 連結財務ハイライト

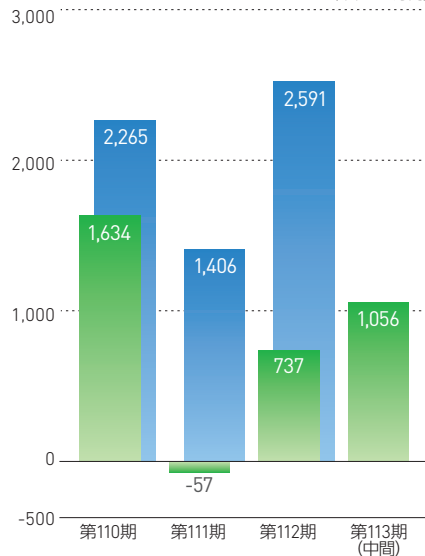
## 売上高

(単位:百万円)



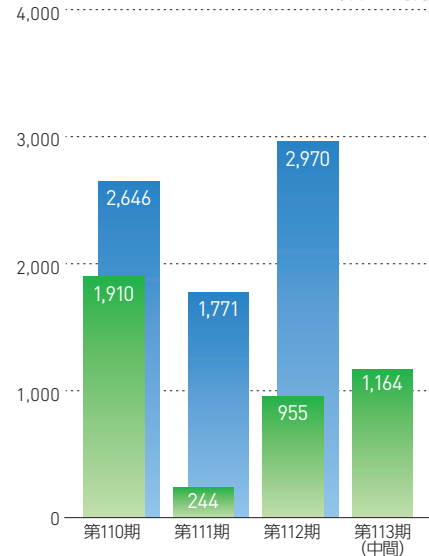
## 営業利益

(単位:百万円)



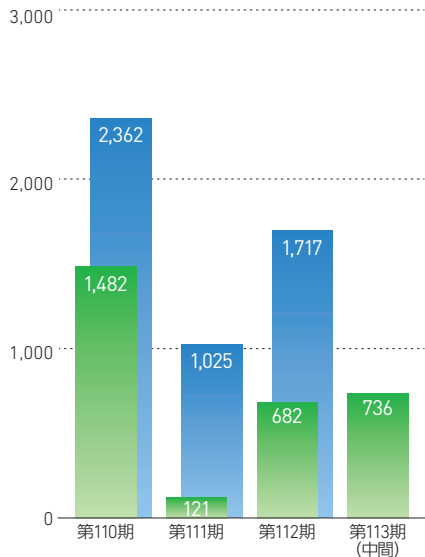
## 経常利益

(単位:百万円)



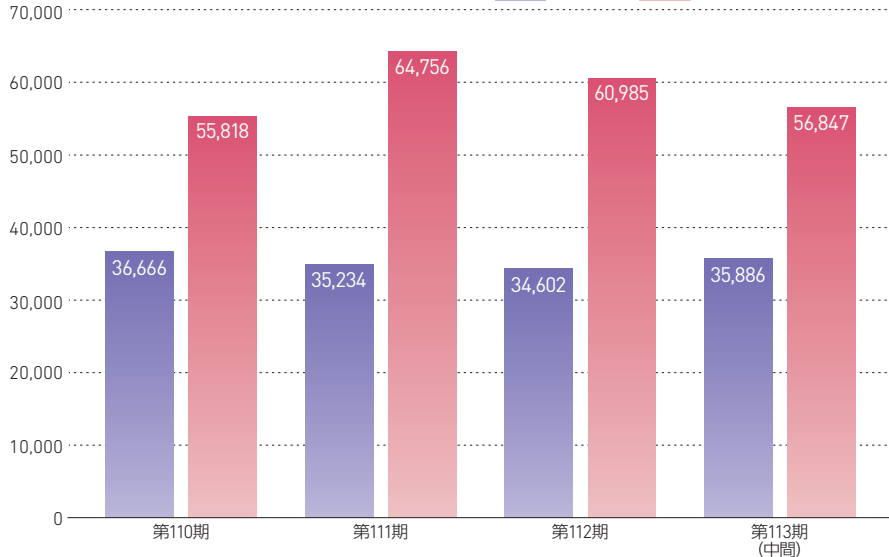
## 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

(単位:百万円)



## 純資産・総資産

(単位:百万円)



## 連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

	第112期 2020年3月31日現在	第113期第2四半期 2020年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	35,461	<b>29,141</b>
固定資産	25,523	<b>27,705</b>
有形固定資産	16,442	<b>16,480</b>
無形固定資産	381	<b>355</b>
投資その他の資産	8,699	<b>10,869</b>
資産合計	60,985	<b>56,847</b>

(単位：百万円)

	第112期 2020年3月31日現在	第113期第2四半期 2020年9月30日現在
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	18,848	<b>12,268</b>
固定負債	7,534	<b>8,691</b>
負債合計	26,382	<b>20,960</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	32,722	<b>32,604</b>
その他の包括利益累計額	1,878	<b>3,281</b>
純資産合計	34,602	<b>35,886</b>
負債純資産合計	60,985	<b>56,847</b>

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

	第112期 第2四半期累計 2019年4月1日 ～2019年9月30日	第113期 第2四半期累計 2020年4月1日 ～2020年9月30日
<b>売上高</b>	20,501	<b>20,178</b>
売上原価	16,495	<b>15,863</b>
売上総利益	4,006	<b>4,315</b>
販売費及び一般管理費	3,268	<b>3,258</b>
<b>営業利益</b>	737	<b>1,056</b>
営業外収益	267	<b>232</b>
営業外費用	50	<b>125</b>
<b>経常利益</b>	955	<b>1,164</b>
特別利益	291	<b>0</b>
特別損失	123	<b>33</b>
税金等調整前四半期純利益	1,123	<b>1,130</b>
法人税、住民税及び事業税	278	<b>373</b>
法人税等調整額	163	<b>21</b>
四半期純利益	682	<b>736</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	682	<b>736</b>

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

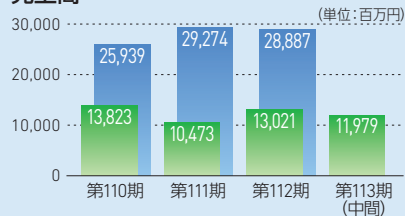
	第112期 第2四半期累計 2019年4月1日 ～2019年9月30日	第113期 第2四半期累計 2020年4月1日 ～2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,630	<b>3,928</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463	<b>△588</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,620	<b>△4,591</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	<b>△39</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,533	<b>△1,290</b>
現金及び現金同等物の期首残高	7,609	<b>11,402</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,143	<b>10,112</b>

# 事業別の概要

## 物流ソリューション事業

Eコマース・生協などの流通業界や空港業界向けの各種物流システムの開発・設計・施工、ならびにメンテナンス業務等

### 売上高



### 営業利益



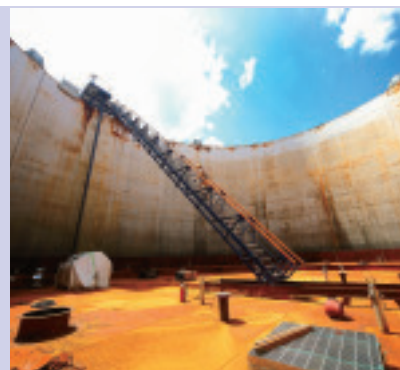
## 機械・プラント事業

LNG、LPG、原油、その他気体・液体用の貯蔵タンクの設計・製作・施工や、これら各種タンクのメンテナンス業務等

### 売上高



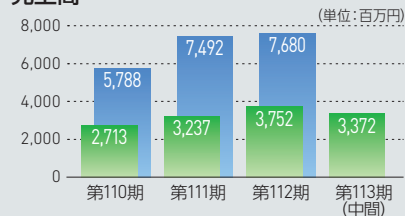
### 営業利益



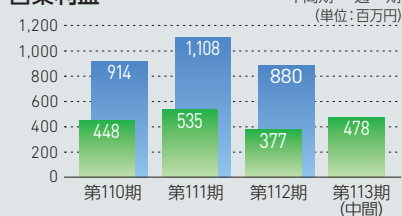
## その他事業

環境・産業インフラ事業 (ウインチなど産業用設備機器の製造・販売、福祉施設などの建築請負、アスベスト等の環境調査)、不動産の賃貸等

### 売上高



### 営業利益



## 物流ソリューション事業

### 和歌山工場へAutoStore導入

2018年に販売を開始したAutoStore（オートストア）を、当社和歌山工場に導入いたしました。これにより、「在庫スペースを1/3に縮小」、「部品供給のリードタイム短縮」を実現します。

AutoStoreは高密度保管と省人化を実現する革新的な保管システムでキューブストレージと呼ばれる革新的な構造により、平置き棚の約3～4倍の超高密度保管を実現します。ロボットが人の手元にモノを自動搬送するため、歩行レスかつ少人数での入出庫を可能にし、ソーシャルディスタンスの確保も実現します。

和歌山工場へのAutoStore導入により、お客様ニーズに合わせ生産量を拡大すると同時に更なる生産のリードタイム短縮を図ります。



## 機械・プラント事業

### 無事故・無災害記録達成及び継続、更なる安全管理の徹底

当社グループでは「労働安全衛生方針」のもと、国際規格ISO45001認証取得、グループ安全会議の開催、現場安全パトロールの実施等、パートナー企業を含めた安全管理体制の維持・拡充等により、労働安全衛生の確保・向上に努めています。

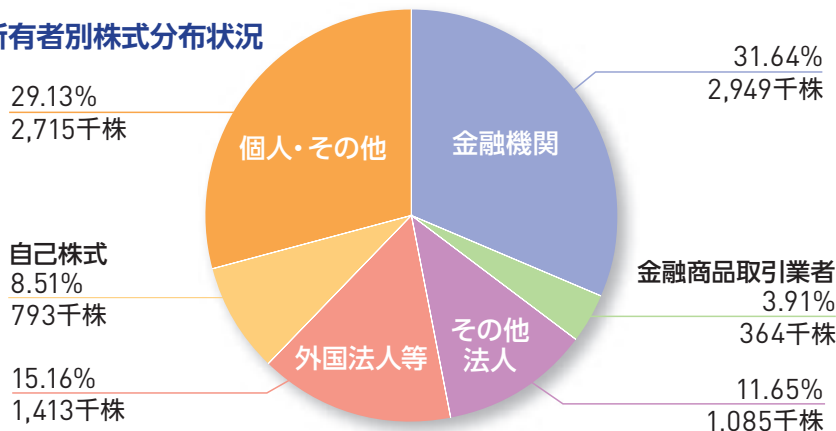
機械・プラント事業本部では、国内外新設タンク建設はもとより、国内製油所を中心にメンテナンス事業に注力しており、年間約100基のタンク保守及び修繕に携わっています。現場では、協力会社様（パートナー企業）を含め、当社の所長、監督者が一体となって、「災害ゼロ」を達成する為、人命尊重の理念に則り「労働災害はあってはならない」とする原点に立ち返り、日々の労働安全衛生活動を強力に展開しています。その甲斐あって、2015年から今日に至るまで、無事故・無災害記録を達成、現在も継続中です。また奨励活動として、毎年、特に積極的に取り組んだ現場に対し、更なるモチベーションと安全意識の向上を目的に現場安全表彰を実施しています。

2019年度に社長直轄の独立組織として改組された「安全環境・品質保証部」では、これまで事業分野別に行っていた労働安全衛生マネジメントを統合的に推進するべく、体制やルールの見直しに取り組んでいます。今後も、同部を中心にPDCA機能を強化し、事業を支える要である作業者の安全管理を徹底しながら、高品質なサービスを提供してまいります。

## 株式の状況

発行可能株式総数	29,700,000株
発行済株式総数 (自己株式を含む)	9,323,074株
株主数	8,896名

### 所有者別株式分布状況



2020年9月30日現在

## ■ 人材の育成と活用

### インターンシップの充実

当社では、学生が企業での体験を通じ自らの能力をさらに発揮することを促す機会として、演習型のインターンシップを展開しています。2019年度には大学と協働して中期コースを新設し、2020年度現在では下記3つの物流ソリューション業務の体験インターンシップを実施しています。

- ①性能評価演習：主力製品である仕分装置の重要部品の性能を評価
- ②概要設計演習：物流センター概要設計図を実条件の下作成
- ③プログラミング演習：物流センター運用の要であるコントロールパネルの設計とプログラミング

参加した学生の多くがソリューションビジネスの視点に触れ、企業の生み出す付加価値を意識した姿勢で演習に取り組んでおり、指導する社員も学生の自由で柔軟な発想に触れながらティーチングスキルを磨くなど、社内外の垣根をこえた強いシナジー効果を得ています。また、2019年度は、日本インターンシップ推進協会の成果発表会において参加学生が優秀賞（1位）を受賞する等、対外的な評価も得ています。

今後も継続してインターンシップを実施し、当社の技術力や魅力を発信するとともに、学生が斬新な発想力を活かしつつ、将来のキャリア形成を考える契機となるようなプログラムの考案に努めてまいります。



## ■ ESG経営の推進

### 「TKK レポート 2020」 刊行のお知らせ

当社グループは、今年度版の統合報告書「TKKレポート2020」を刊行いたしました。TKKレポートは、株主や投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、当社グループの財務情報と非財務情報（事業戦略、事業概況、ESG；環境・社会・企業統治に関する取り組みなど）を統合的に伝え、企業価値を中長期的に向上させることを目的に、2019年度より年次刊行を開始しました。

2回目の発行となる今年度は、ステークホルダーの皆様からいただいたフィードバックも参考にしながら内容の充実を図りました。役員参加のディスカッションを経て決定した、当社の重要課題（マテリアリティ）解決の進捗を示すKPIや、マテリアリティの取り組みを具体的にお伝えするトピックス、社外取締役のメッセージなどを新たに掲載しています。株主の皆様も是非お読み頂き、ご意見やご感想をお寄せいただけましたら幸いです。



▶ 詳しい内容につきましては、  
HP([https://www.toyokanetsu.co.jp/ir/tkk\\_report.php](https://www.toyokanetsu.co.jp/ir/tkk_report.php))  
をご覧ください。



## ■ 会社概要

2020年9月30日現在

商号 トーヨーカネツ株式会社 TOYO KANETSU K.K.

創立 1941年5月16日

所在地 東京都江東区南砂二丁目11番1号

資本金 185億80百万円

## ■ 役員

2020年9月30日現在

代表取締役社長 柳川 徹

取締役副社長執行役員 兒玉 啓介

取締役常務執行役員 大和田能史

取締役常務執行役員 渡邊 一人

取締役常勤監査等委員 阿部 和人

取締役監査等委員 樋渡 利秋

取締役監査等委員 永井 庸夫

取締役監査等委員 中村 重治

## ■ グループ会社

2020年9月30日現在

### ■ 物流ソリューション事業／機械・プラント事業

トーヨーカネツマレーシア社（マレーシア）

### ■ 機械・プラント事業

トーヨーカネツインドネシア社（インドネシア）

トーヨーカネツシンガポール社（シンガポール）

### ■ その他事業

トーヨーコーケン株式会社

トーヨーカネツビルテック株式会社

環境リサーチ株式会社

株式会社トーヨーサービスシステム

## ● 株主メモ ●

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領 株主確定日	〔 期末配当金 3月31日 〕 〔 中間配当金 9月30日 〕
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL <a href="https://www.toyokanetsu.co.jp/">https://www.toyokanetsu.co.jp/</a>

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### (ご案内)

#### 株式に関するマイナンバー制度のお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

#### 【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

#### 【主な支払調書】

\* 配当金に関する支払調書

\* 単元未満株式の買取請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

#### 【マイナンバーのお届出に関するお問合せ先】

証券会社の口座にて株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問合せください。

証券会社とのお取引がない株主様

三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問合せください。

## ● ホームページのお知らせ ●



<https://www.toyokanetsu.co.jp/>

当社に関する情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

# トヨカネツ 株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区南砂二丁目11番1号  
TEL.03 (5857) 3333 (代表) FAX.03 (5857) 3170



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

